

1 大川広域消防の沿革

昭和 45 年 7 月 18 日	大川地区広域圏設定
昭和 45 年 8 月 26 日	大川地区広域行政振興整備事務組合設立について知事の許可
昭和 47 年 2 月 8 日	消防本部(署)及び分遣所の起工式、工事着工
昭和 47 年 2 月 12 日	広域消防及び救急業務について知事の許可
昭和 47 年 4 月 1 日	大川広域消防本部発足 消防職員48人採用
昭和 47 年 4 月 15 日	消防本部及び消防署を置かなければならない町村の指定を受ける。
昭和 47 年 7 月 10 日	消防本部(署)及び分遣所竣工
昭和 47 年 8 月 1 日	1本部、1署、3分遣所、消防車4台、指令車1台で業務開始 消防職員13人採用
昭和 47 年 12 月 1 日	消防職員9人採用
昭和 48 年 1 月 28 日	水槽付消防ポンプ自動車1台及び広報車1台購入、本署に配置した。
昭和 48 年 2 月 19 日	救急車1台購入
昭和 48 年 4 月 1 日	本署に救急車1台配置し、救急業務開始
昭和 48 年 7 月 29 日	救急車1台購入
昭和 48 年 8 月 1 日	第3分遣所に救急車1台配置し、救急業務開始
昭和 48 年 8 月 28 日	小型動力ポンプ積載車1台購入し、本署に配置した。
昭和 49 年 4 月 1 日	消防職員5人採用
昭和 50 年 11 月 19 日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台寄贈、本署に配置した。
昭和 51 年 6 月 12 日	分遣所の名称を「第1分遣所」を「白鳥分署」に「第2分遣所」を「寒川分署」に 「第3分遣所」を「志度分署」に改める。
昭和 51 年 7 月 6 日	日本消防協会から広報車1台貸与された。
昭和 51 年 9 月 6 日	日本消防協会から救急車1台寄贈された。
昭和 51 年 10 月 31 日	消防本部庁舎南側に訓練塔を設置した。
昭和 51 年 12 月 1 日	消防職員の定数条例を改正し、78人に改めた。 消防職員3人採用
昭和 51 年 12 月 1 日	寒川分署に救急車1台配置し、救急業務開始
昭和 52 年 10 月 1 日	テレガイド設置
昭和 54 年 7 月 7 日	防災指導車(軽四)購入
昭和 55 年 1 月 30 日	指令車購入(更新)
昭和 55 年 3 月 21 日	香川県共済農業協同組合連合会から救急車1台寄贈、本署の救急車を更新した。
昭和 57 年 3 月 31 日	査察車購入
昭和 57 年 6 月 30 日	救急車1台購入、志度分署の救急車を更新した。
昭和 58 年 3 月 25 日	消防ポンプ自動車(CD-1型)1台購入、本署の消防ポンプ自動車を更新した。
昭和 58 年 3 月 30 日	消防、救急指令台更新
昭和 58 年 9 月 1 日	日本消防協会から救急車1台寄贈、寒川分署の救急車を更新した。
昭和 58 年 9 月 25 日	長尾ライオンズクラブから軽四広報車1台寄贈、寒川分署に配置した。
昭和 58 年 9 月 25 日	車載無線機 5 W1台購入
昭和 58 年 12 月 19 日	消防ポンプ自動車(CD-1型)1台購入、志度分署の消防ポンプ自動車を更新した。
昭和 59 年 12 月 14 日	消防ポンプ自動車(CD-1型)1台購入、白鳥分署の消防ポンプ自動車を更新した。
昭和 60 年 7 月 1 日	白鳥町、土成町、市場町、阿北消防組合消防本部と消防相互応援協定締結
昭和 60 年 12 月 24 日	香川県共済農業協同組合連合会から救急車1台寄贈、本署に配置した。
昭和 60 年 12 月 25 日	消防ポンプ自動車(CD-1型)1台購入、寒川分署の消防ポンプ自動車を更新した。

昭和 61 年 3 月 27 日	阿北消防組合消防本部と鶴の田尾トンネル防災活動等の相互応援協定に基づく覚書を締結
昭和 61 年 12 月 1 日	香川県消防相互応援協定締結
昭和 61 年 12 月 25 日	水槽付消防ポンプ自動車1台購入、本署に配置し、旧水槽付消防ポンプ自動車を志度分署に配置した。
昭和 61 年 12 月 25 日	査察車1台購入
昭和 62 年 4 月 1 日	消防職員の定数条例を改正し、88人に改めた。 消防職員3人採用、現員81人となる。
昭和 62 年 7 月 13 日	長尾町、三木町、塩江町、脇町、讃岐地区広域消防組合、美馬東部消防組合と消防相互応援協定締結
昭和 62 年 8 月 1 日	引田町、鳴門市と消防相互応援協定締結
昭和 62 年 8 月 28 日	引田町、板野町、上板町、板野西部消防組合と消防相互応援協定締結
昭和 62 年 12 月 16 日	救助資機材搬送車1台購入、本署に配置した。
昭和 63 年 2 月 17 日	ファクシミリ1台設置
昭和 63 年 3 月 29 日	消防本部無線基地局増波(全国波、県内波)
昭和 63 年 4 月 1 日	消防職員7人採用、現員88人となる。
昭和 63 年 6 月 20 日	広報車1台購入(更新)
昭和 63 年 8 月 10 日	日本消防協会から救急車1台寄贈、志度分署の救急車を更新した。
昭和 63 年 9 月 6 日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台寄贈、志度分署に配置、旧水槽付消防ポンプ自動車を寒川分署に配置した。
昭和 63 年 9 月 20 日	救急車1台購入
昭和 63 年 10 月 1 日	白鳥分署に救急車1台配置し、救急業務開始
平成 元年 4 月 1 日	消防職員の定数条例を改正し、91人に改めた。 消防職員4人採用し、現員91人となる。
平成 元年 7 月 12 日	防災指導車(軽四トラック)購入(更新)
平成 元年 8 月 9 日	日本消防協会から携帯無線機10台寄贈された。
平成 元年 12 月 13 日	水槽付消防ポンプ自動車2台購入、1台は白鳥分署に配置、1台は寒川分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新した。
平成 2 年 5 月 22 日	防災指導車(軽四トラック)2台購入し、白鳥、志度分署に配置した。
平成 3 年 3 月 29 日	白鳥、寒川分署救急仮眠室増築工事竣工
平成 3 年 4 月 1 日	消防職員の定数条例を改正し、100人に改めた。
平成 3 年 8 月 27 日	気象観測装置購入(更新)
平成 4 年 1 月 10 日	指令車購入(更新)
平成 4 年 1 月 28 日	救急車1台購入、寒川分署の救急車を更新した。
平成 4 年 4 月 1 日	消防職員3人採用、現員92人となる。
平成 4 年 9 月 4 日	日本防火協会から広報車1台寄贈、消防本部に配置した。
平成 4 年 9 月 11 日	日本消防協会から救急車1台寄贈、本署の救急車を更新した。
平成 5 年 3 月 25 日	志度分署会議室及び車庫増築工事竣工
平成 5 年 3 月 30 日	白鳥、寒川、志度の各分署にファクシミリを設置した。
平成 5 年 4 月 1 日	消防職員の定数条例を改正し、106人に改めた。 消防職員4人採用、現員96人となる。 消防本部・署の組織を改正し、1本部2署2分署体制とした。
平成 5 年 12 月 4 日	救助工作車1台購入、東署に配置し、救助資機材搬送車を西署に配置した。
平成 5 年 12 月 10 日	消防本部に車庫38.5㎡を増築した。

平成 6 年 1 月 20 日	香川県防災ヘリコプター派遣に関する協定締結により職員1名派遣
平成 6 年 2 月 1 日	香川県防災行政無線に関する協定締結
平成 6 年 4 月 1 日	消防職員5人採用、現員100人となる。 香川県防災ヘリコプター応援協定締結
平成 6 年 7 月 29 日	原調車購入(更新)
平成 7 年 1 月 17 日	阪神・淡路大震災に職員13人(延べ23日間)を兵庫県へ派遣
平成 7 年 4 月 1 日	消防職員3人採用、現員103人となる。
平成 7 年 6 月 1 日	消防職員の定数条例を改正し、110人に改めた。
平成 7 年 6 月 20 日	広報車1台購入、西署に配置した。
平成 7 年 8 月 16 日	防災指導車(軽四トラック)購入(寒川分署更新)
平成 7 年 9 月 5 日	緊急消防援助隊の救急部隊として登録される。
平成 8 年 4 月 1 日	消防職員7人採用、現員110人となる。
平成 8 年 11 月 19 日	はしご自動車(35m級)購入、西署に配置した。
平成 9 年 11 月 27 日	消防ポンプ車(CD-1型)2台購入、東署及び西署の消防ポンプ自動車を更新した。
平成 9 年 12 月 1 日	高規格救急自動車1台購入、東署救急自動車を更新した。
平成 10 年 2 月 24 日	消防本部に通信指令室238.30㎡増築した。
平成 10 年 3 月 26 日	香川県消防相互応援協定に基づく高速自動車道等に関する覚書締結 高速自動車道における救急業務、火災消火業務等に関する覚書締結
平成 10 年 10 月 1 日	高松市消防局と携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定締結
平成 10 年 12 月 18 日	高規格救急自動車1台購入、西署救急自動車を更新した。
平成 11 年 3 月 26 日	消防緊急通信指令施設(Ⅱ型)設置、運用を開始した。 救急波を増波及び設備の増設をした。
平成 11 年 7 月 30 日	消防ポンプ車(CD-1型)2台購入、白鳥分署及び寒川分署の消防ポンプ自動車を更新した。
平成 11 年 9 月 30 日	原調車購入(更新)
平成 12 年 9 月 11 日	東消防署、白鳥分署及び寒川分署庁舎改築した。
平成 13 年 4 月 1 日	液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく事務のうち設備工事の届出受理等の事務を共同処理に追加する。
平成 13 年 5 月 24 日	広報車購入(更新)
平成 13 年 9 月 28 日	西消防署庁舎改築した。
平成 13 年 11 月 20 日	高規格救急自動車1台購入、寒川分署救急自動車を更新した。
平成 14 年 4 月 1 日	津田町、大川町、志度町、寒川町及び長尾町が合併し、さぬき市となる。
平成 14 年 12 月 20 日	高規格救急自動車1台購入、白鳥分署救急自動車を更新した。
平成 15 年 2 月 28 日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台寄贈、東消防署に配置した。
平成 15 年 4 月 1 日	消防職員3人採用、現員111人となる。 引田町、白鳥町及び大内町が合併し、東かがわ市となる。
平成 15 年 6 月 25 日	防災指導車(軽四トラック)購入(東消防署更新)
平成 15 年 12 月 1 日	鉄道災害時の安全対策に関する覚書締結(JR)
平成 15 年 12 月 5 日	通信指令施設システム変更した。
平成 15 年 12 月 5 日	救助資機材搬送車購入(西消防署更新)
平成 15 年 12 月 10 日	西消防署車庫36.08㎡増築した。
平成 15 年 12 月 25 日	鉄道災害時の安全対策に関する覚書締結(琴電)
平成 16 年 3 月 26 日	西消防署、白鳥分署及び寒川分署にホースタワーを設置した。(新設)
平成 16 年 5 月 20 日	防災指導車(軽四トラック)購入(西消防署、白鳥分署更新)

平成 16 年 10 月 13 日	はしご自動車オーバーホール実施
平成 16 年 12 月 2 日	水槽付消防ポンプ自動車購入(西消防署更新)
平成 17 年 12 月 1 日	通信指令施設改修し、携帯119番受信運用開始
平成 18 年 4 月 1 日	消防職員4人採用、現員114人となる。
平成 18 年 11 月 24 日	水槽付消防ポンプ自動車 2 台購入(白鳥分署、寒川分署 更新)
平成 19 年 4 月 1 日	消防職員8人採用、現員116人となる。
平成 19 年 6 月 15 日	広報車購入 (防火号更新)
平成 19 年 10 月 1 日	セパレート型防火服導入する。 (3年計画)
平成 20 年 4 月 1 日	消防職員4人採用、現員113人となる。
平成 20 年 11 月 7 日	高規格救急自動車 1 台購入 (東消防署更新)
平成 21 年 4 月 1 日	消防職員 7 人採用、現員113人となる。
平成 21 年 12 月 9 日	高規格救急自動車 1 台購入 (西消防署更新)
平成 22 年 4 月 1 日	消防職員4人採用、現員113人となる。
平成 22 年 7 月 6 日	査察車購入 (更新)
平成 22 年 10 月 1 日	通信指令施設部分更新し、携帯119番等位置情報通知システム運用開始
平成 23 年 3 月 14 日	東日本大震災に緊急消防援助隊として車両2台、職員12人 (延べ8日間) を宮城県へ派遣
平成 23 年 4 月 1 日	消防職員3人採用、現員112人となる。
平成 24 年 3 月 5 日	指令車購入 (更新)
平成 24 年 4 月 1 日	消防職員8人採用、現員114人となる。
平成 24 年 12 月 21 日	高規格救急自動車 1 台購入 (寒川分署更新)
平成 25 年 4 月 1 日	消防職員9人採用、現員119人となる。
平成 25 年 11 月 6 日	救助工作車1台購入 (東消防署更新)
平成 25 年 11 月 7 日	高規格救急自動車 1 台購入 (白鳥分署更新)
平成 25 年 12 月 9 日	はしご自動車オーバーホール実施
平成 26 年 4 月 1 日	消防職員4人採用、現員110人となる。
平成 27 年 2 月 27 日	消防資機材搬送車 1 台購入 (東消防署更新)
平成 27 年 3 月 24 日	消防ポンプ自動車 1 台購入 (西消防署更新)
平成 27 年 4 月 1 日	消防職員 4 人採用、現員112人となる。